

7 資源が豊富な中央アジア・西アジア

○人々の生活を豊かにした原油

中央アジアから西アジア: 砂漠が多い地域で、人口は少なく作物の栽培も限られる
 →アラブ首長国連邦のドバイでは、砂漠の中に高層ビルが並ぶ都市が発達

カスピ海沿岸やペルシア湾岸など: 原油が多く産出される

→サウジアラビアなどの油田を持つ国は、原油や石油製品などを輸出した利益をもとに発展

原油の輸出: タンカーや(**パイプライン**)を使用

→日本や北アメリカ、ヨーロッパなどへ運ばれる

※(**パイプライン**)とは、原油や天然ガスなどを長距離輸送するための管状くだじょうの施設のこと

○石油収入を新しい産業の発展に生かす西アジア

(**OPEC(石油輸出国機構)** ***)とは、1960年に世界の産油国で結成された組織のこと

→加盟した産油国は、原油価格や生産量を定める

西アジアの産油国

原油で得られた利益を、交通・通信網の整備や教育などに利用
 観光業などの新しい産業に進出 例) アラブ首長国連邦のドバイなど

西アジアの原油の産出が少ない国: 経済発展の遅れ

西アジアの産油国で労働者が不足

→産油国の周辺地域から、(**外国人労働者**)が出稼ぎに来る

<総人口に占める外国人の割合(2013)>

	アラブ首長国連邦	クウェート	サウジアラビア	オマーン
外国人	83.7%	60.1%	31.4%	30.6%
自国民	16.3	39.9	68.6	69.4
総人口	934 万人	336 万人	2882 万人	363 万人

○政治的に不安定な中央アジア・西アジア

中央アジア・西アジア: 原油や天然ガス、レアメタルなどの(**鉱産資源**)に恵まれる

→様々な国や企業による開発、資源をめぐる利害関係から紛争の火種になる

〔課題〕 シリアなど、内戦による(**難民** **)が発生